

大阪府、大阪市と大阪商工会議所は、10月2日、「大阪ビジネス交流クラブ」を創設した。同クラブは、O-BICとIBPC大阪企業誘致センター等がこれまでサポートした大阪への進出企業を対象に、企業同士の交流促進と商機拡大支援を目的に設立。大阪市公館での創立記念イベントには、31社の外資系企業を含む45の進出企業から50名が参加した。



主催者挨拶では、平松邦夫・大阪市長が「大阪には市民が主役となって築いてきた伝統や文化、産業などの資源がある。こうしたポテンシャルを活かしながら、官民一体となって産業の育成・支援に取り組んでいく。」と語り、同クラブへの積極的な参加を進出企業に呼掛けた。



続く講演会で、パナソニック株式会社の福島伸一・代表取締役専務がブランド戦略をにらんだ社名変更や薄型テレビ事業など同社のグローバル展開における重点取り組みを紹介した。

交流会では、進出企業から、アジアへのアクセス利便性、製造業の集積や官民一体の誘致体制などを評価する声が聞かれた。あわせて、「関西経済活性化の施策」、「商談会の開催やビジネス機会の提供」など同クラブに対する多くの期待も寄せられた。

